

実施日：2018年11月14日(水) 5校時	
領域：①教科 (算数)	
取組名：おおきさくらべ	
対象：1年生	実施場所：教室
<p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 長さ・かさの比べ方に興味をもち、そのよさを知り、進んで生活にいかそうとする。 (関心・意欲・態度) 長さ・かさの比較を通して、測定の基礎となる考え方を身につける。(思考) 具体物の長さ・かさの比較ができる。(技能) 長さ・かさの概念を理解する。(知識・理解) 	
<p>イ 指導内容(指導略案)や取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時間の学習を振り返り、本時の課題「任意単位を使って測定し、長さを表現し比べることができる。」をつかむ。 任意単位を決め、測定のルールを確認する。 長さを測り比べる。(個人で考える、ペアで確認する、全体で確認する) 教室の中にあるものの長さを測る。 今日の学習の振り返りをする。 	
ウ 連携先：保護者、大阪教育大学 臼井智美 准教授	
<p>エ 連携にむけての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業内容や改善点等に関して、大阪教育大学の臼井智美准教授に指導をいただいた。 宿題を通じて家庭からの支援も得られた。 	
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> 学年全体で取り組み、学習の進め方や指導方法等、検討を重ねた。 他クラスで試行授業をおこなうごとに、放課後学年や管理職を交えて、協議をおこなった。 	
<p>カ 評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表 ワークシート 	
<p>キ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 「任意単位に従って測定をすることができる」→始めは二人組で次は一人で測って比べていたが、二人で測らせると協力し合ってきちんとどちらが長いのか比べることができた。 「はしをそろえる」や「同じもの」など、技術的なことよりも何を使って測ったのかということが大事だったと思ったので、しっかりそこは貫けていた。 児童が「口の○つぶん」をよく理解し、算数だけでなく、他の教科や様々な学校生活の中でも使うようになっていた。児童はことばを使う表現力が高まったと感じた。 	
<p>ク 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 測るのは大変だったが、早く測るためには使うものをどうすればよいのかを児童に投げかけ、児童たちが体験したことを共有しておく必要があった。 「比べる」の支援は、「～は…より」「～のほうが…より」という比較支援を入れた方がよい。「しるしをつける」ことが必要だった。 	

※ 学習指導案、人権教育資料やその指導例、児童・生徒・参加者等の感想や活動写真、アンケート結果等、参考となる資料を添付願います。